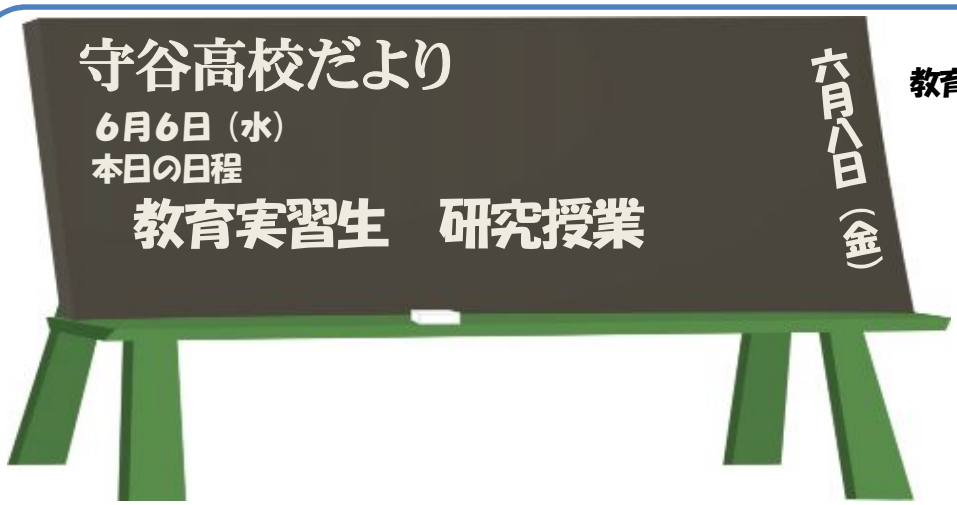

教育実習生が今年もやってきました。

先生の卵　がんばりました。

５月21日（月）からスタートした教育実習も３週間目に突入しました。今年の実習生は，英語が専門で，指導教諭の箕輪先生のもと，楽しく生徒たちと実習を行ってきました。そして，本日，第３時間目に研究授業を公開しました。

ＣＤを使っての授業展開のはずが！！**音が出なぁーい！**

まさかの，機器のトラブルに見舞われ急きょ音読をすることとなりました。

ＩＣＴは文字通り，Ｉ：いつも，Ｃ：ちょっと，Ｔ：トラブルの略だと，常に心構えが必要！！

生徒たちは，参観に訪れた多くの先生を前にして，緊張しながらも音読していました。声を出して音読することは，実習生に対する協力の気持ちの表れです。

指導教諭の箕輪先生が，実習生にヘルプの手を差し伸べる温かな人柄を時折見せていました。

参観した先生方も生徒の質問に答える場面が見られました。

ペア学習で話し合った後は，グループをつくり，課題に挑戦していました。わからないところを一人で悩むより，協力し合って解決すれば，お互いの理解が深められます。遠慮せず話し合いましょう。

単語調べも手分けをして協力すれば，時間短縮と労力軽減なのですが，学習は手を抜いてはいけません。

英語のテキストにもあるように，英語を習得することは世界へ羽ばたく第一歩かも？知れません。

今では，英語の歌を聴くことも学習なんですねぇー。ぜひ，英語に親しんでください。

また，辞書を引くことはとても大切です。スマホに頼らずアナログの学習も継続しましょう。

いよいよ，グループで黒板の問題に答えます。アンダーラインの引かれた部分に訳を書いていきますが，間違いの無いように，何度もチェック！

英語の得意な生徒たちは，どんどん先に進めます。個々のペースに合わせながら，理解を深め，楽しみながら学習ができることは，とても良いことだと思います。